

大川小学校事故検証委員会(第1回)の開催に当たって

東日本大震災から間もなく1年11ヵ月を迎えます。

震災の津波により、石巻市立大川小学校の管理下で児童・教職員80名が犠牲となり、未だ児童4名が行方不明となっておりますことは、痛恨の極みであります。亡くなられた皆様の御冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様に対するお悔やみと捜索を続けておられる御家族の皆様に対するお見舞いを心から申し上げます。

本日、本事故に関する公正中立かつ客観的な検証を行うため、大川小学校事故検証委員会が開催されます。本事故については事故後、御遺族と石巻市教育委員会との話合いが累次にわたって持たれ、石巻市議会における御審議を経て、本検証委員会が設置されることとなりました。その過程では、御遺族、文部科学省、宮城県教育委員会、石巻市教育委員会による「4者円卓会議」を開催し、検証の進め方に関する意見交換を行い、多くの御意見を伺ってまいりました。

文部科学省としては、本検証委員会による検証業務を通じて、本事故の真相究明と同種の事故の再発防止が図られることを心から願っています。本検証委員会の委員の皆様には、公正中立かつ客観的な検証を進めて頂くようお願いいたします。文部科学省としても、宮城県教育委員会とともに本検証業務についてしっかりと指導・監視に当たるとともに、検証の成果を踏まえ、学校防災の改善・充実に努めていく所存です。

平成25年2月7日

文部科学大臣 下村博文